

北陽台だより 第324号

青い波北陽台

令和7年9月29日 発行

長崎県立長崎北陽台高等学校

西彼杵郡長与町高田郷3672

TEL 095-883-6844

FAX 095-883-0776

発行責任者 長池 一徳

「チャレンジして失敗を恐れるよりも、何もしないことを恐れろ」

教頭 三丸 孝彦

秋の訪れを感じる季節となりました。9月は、学校生活の中でも特に熱気に包まれた1か月でした。上旬には体育大会が行われ、各班一丸となって競技や応援に取り組む姿が見られました。特に3年生にとっては高校生活最後の体育大会であり、仲間と心をひとつにして走り抜ける姿は、後輩たちの胸に刻まれ、これまで積み上げてきた時間の重みを感じました。下旬には学期に一度の定期試験が実施され、学習面での成果を確認する機会となりました。行事と学習の両立は簡単なことではありませんが、その経験こそがこれからの成長につながる力になるはずです。

10月に入ると、1・2年生は部活動の新人戦が本格化します。新しいチームとして挑む最初の公式戦は、結果以上に「これからどう成長していくか」を示す大切な機会です。仲間と力を合わせて戦いながら、自分の役割を見つめ直し、次の一歩につなげてほしいと思います。3年生は受験に向けて学習が本格化し、進路実現に向けた取り組みがいよいよ加速していきます。日々の努力が成果に結びつくまでには時間がかかることもありますが、地道に積み上げる姿勢を忘れないでください。

ところで、日本で18年ぶりに開催された世界陸上は、皆さんも連日テレビで応援していたと思いますが、その中でも、男子110mハードルで5位入賞した村竹ラシッド選手のレース後のコメントがとても印象的でした。人目を気にせず涙を流しながらも、「足が動く限り、何年かかってでもメダルを取りたい」と語っていました。自分に足りない部分を探し、日々の練習の中で細部まで改善を重ねてきたからこそ言える言葉だと思います。悔しさを次につなげる強さ、そして支えてくれる人への感謝を忘れない姿勢は、私たちにも大きな示唆を与えてくれます。

最後に、以前学校の掲示板に掲載しましたが、ホンダ創業者・本田宗一郎氏の言葉を改めて紹介します。

「チャレンジして失敗を恐れるよりも、何もしないことを恐れろ」

失敗を恐れず、挑戦し続けることこそが、未来への扉を開く鍵です。皆さん一人ひとりが、自分の目標に向かって歩み続けることを、心から応援しています。

< 第47回体育大会 >

先日行われた体育大会は「瞬（まばたき）～記憶に刻む最高の思い出～」をテーマに生徒たちの熱い思いと元気な姿にあふれる一日となりました。天気にも恵まれ、大きな事故やけがもなく、無事に全プログラムを終えることができました。

競技に全力で取り組む姿、仲間を応援する声、笑顔と感動にあふれた瞬間（とき）はまさに「瞬き」のように短くても忘れられない思い出となったことと思います。

準備から当日まで、あたたかく見守ってくださった皆様、本当にありがとうございました。

今後ともどうぞよろしくお願いします。



< 「長崎大学水産学部研修」 成果発表会 >

9月18日(木)の午前、文理探究科1年生が研修成果発表会を本校で行いました。

6月から長崎大学水産学部の先生方にご協力いただきながら進めてきた研修を、11班それぞれがポスターにまとめ、発表しました。

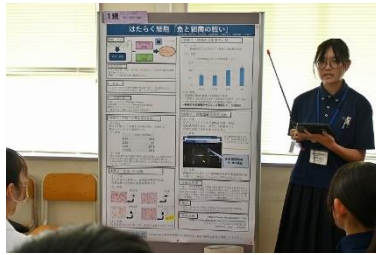
今回は、文理探究科の1年生にとって初めての発表会であり、緊張した様子でしたが、本番ではポスターを用いて、堂々と研修の発表をしていました。

また、長崎大学水産学部の先生方、2年生の普通科理系・文理探究科の生徒や保護者の方々からの質問に答えたり、意見交換をしたりして、有意義な時間となりました。

開会式の様子



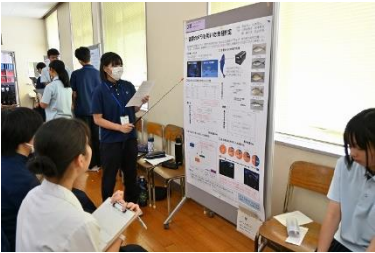
【1班】はたらく細胞「魚と細菌の戦い」



【2班】ひずみゲージを使った魚の引っ張り力計測釣り竿製作



【3班】魚種を判別するにはどんな情報が必要



【4班】操船シミュレータによる大型船の運動性能評価



【5班】身近な海のマイクロプラスチック



【6班】マイクロプラスチックが海の微生物系に与える影響



【7班】日本古来のアマノリ(神仙菜)の謎を探る



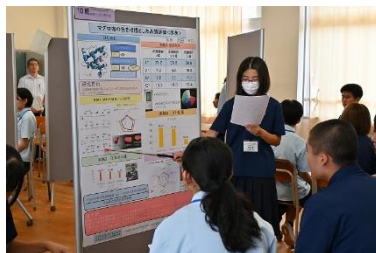
【8班】人工味覚細胞を用いた水産物の食味評価



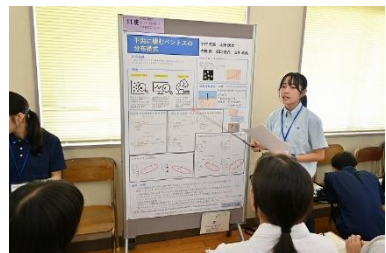
【9班】大村湾に生息するフグの毒性



【10班】マグロ肉の色を指標とした品質評価



【11班】干潟に棲むペントス(底生生物)の分布様式



<各学年より>

長崎北陽台 47回生

Decide Act Grow!

1 学年 朝野 美夏

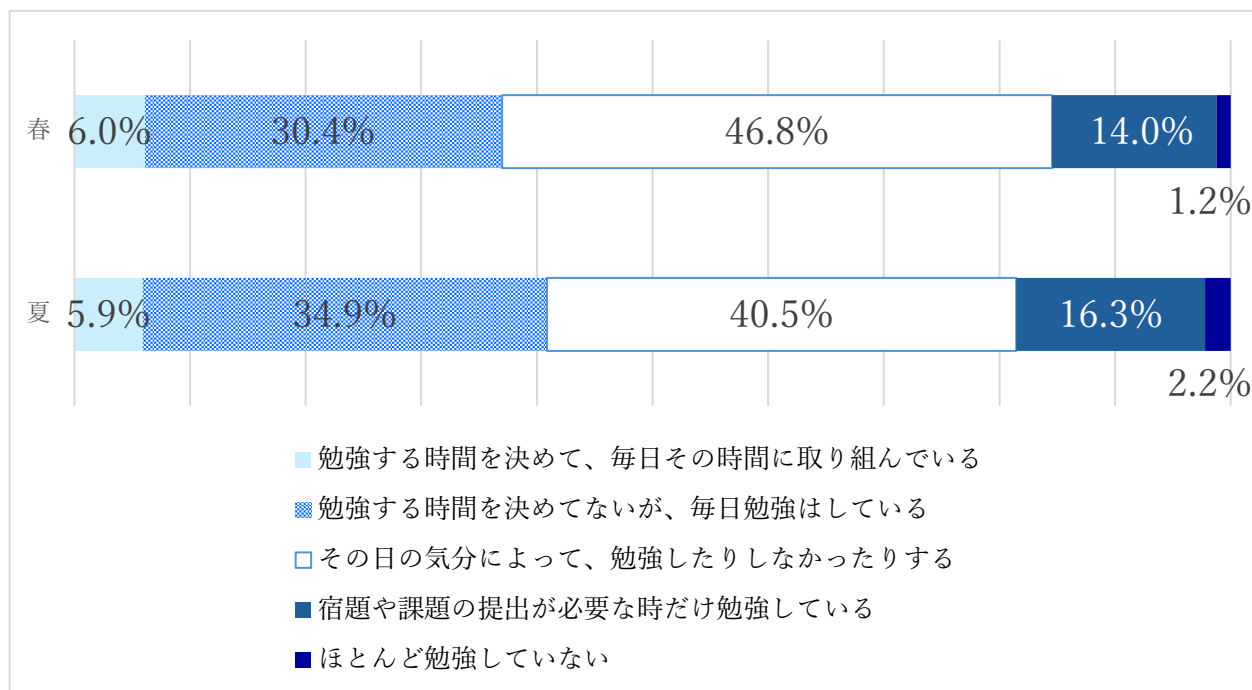
北陽台高校の一大イベントである体育大会が大盛況に終わり、早くも10月に入ろうとしています。リレーや綱引き、応援合戦と全力で取り組み、弾ける笑顔が印象的でした。保護者の皆さまの温かい声援と見守りが、生徒の励みとなり、無事に行事を終えることができました。今後ともご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



さて、8月21日（木）に実施したスタディサプリー到達度テストの個人結果レポートを配付しました。得点や順位が気になる所ですが、それよりもテスト結果の詳細を確認するように話しています。マイページでは、各設問に対応した講義チャプターが明示されており、効果的に自主学習ができるようになっています。教科担当者からは、生徒個別のテスト結果に連動した課題を配信していきますので、理解度が不十分な分野の学習に生かしてほしいと思います。

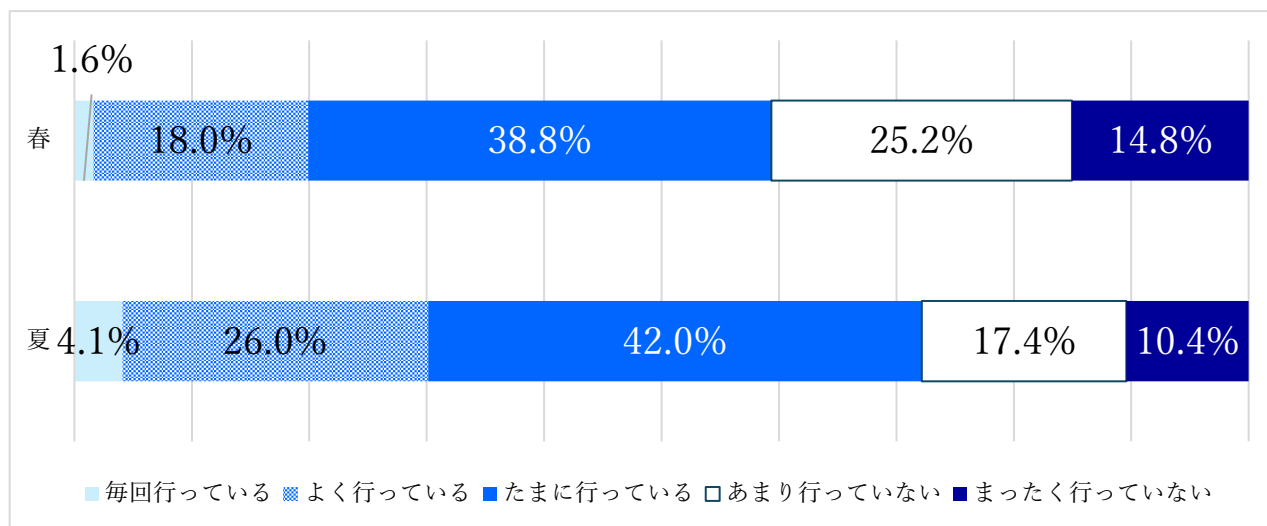
また、スタディサプリーのアンケートから、普段の自主学習の取り組み状況が見えてきました。入学直後と比較すると、毎日しっかり取り組んでいる人が増えています。一人の努力が友達の意欲を引き出し、クラスや学年の雰囲気をも大きく変えることもあります。まずは自分から、毎日の学習を大切に続けていきましょう。

表) 普段の自主学習の取り組み状況 (スタディサプリ到達度テストアンケートより抜粋)



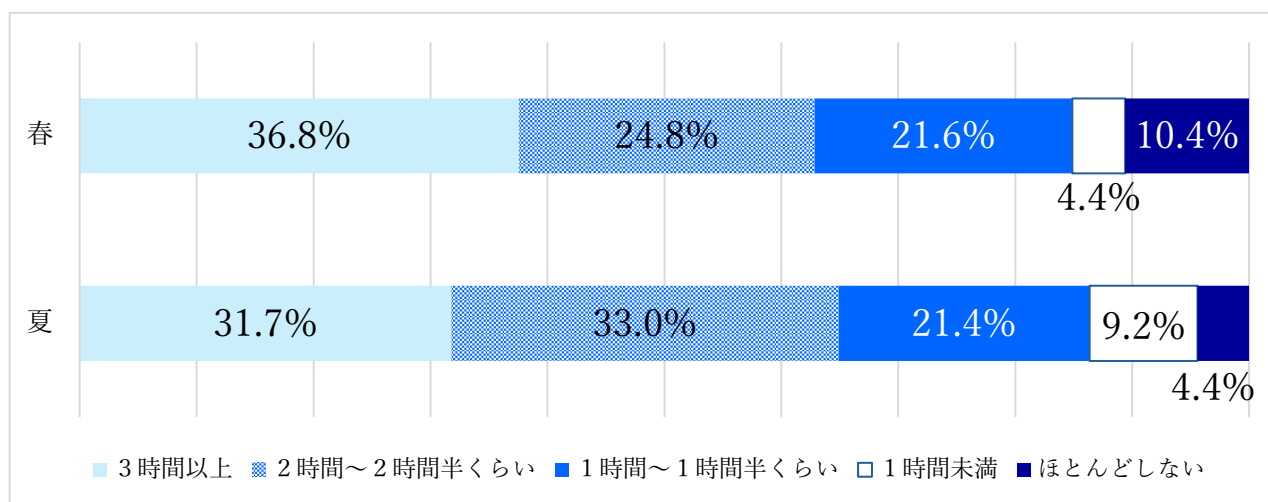
さらに、友達と教え合いながら勉強する人が多いこともアンケート結果から分かってきました。互いに刺激し合うことで理解が深まり、学ぶ楽しさも広がっていきます。このような良い循環がクラスや学年全体に広がり、一人ひとりの成長につながることを期待しています。自分で解決できないときには、北陽台高校の先生方をぜひ頼ってほしいです。

表) 普段の自主学習で、友だちと勉強を教え合うことをどのくらい行っているか (スタディサプリ到達度テストアンケートより抜粋)



一方で、休日の過ごし方には課題があるようです。部活動にいそしんだり、休養をとったりと忙しいとは思いますが、普段できない学習に取り組めるように計画的に過ごすことも必要だと感じています。定期試験が終わった後も、自分に必要なことは何か考えながら1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。

表) 1日の自主学習時間(休日)(スタディサプリ到達度テストアンケートより抜粋)



3年間の振り返り地点～どんな花や実をつけますか？～

2学年 白石 航也

いよいよ2学期が始まりました。2学期最初の行事である体育大会では、どの班も残暑に負けない活気で体育大会の練習に励み、素晴らしい体育大会となりました。特に、係として体育大会の運営やスムーズな進行に貢献した部活動生の皆さん、ありがとうございました。その後も、2年生が中心となって初めて臨む部活動の新人戦や2学期定期試験も実施され、行事、部活動、学習のすべてに懸命に取り組む46回生の姿が印象に残る一か月でした。

さて、この9月は2年生での振り返りであると同時に、3年間の高校生活の振り返りでもありました。46回生の皆さん、1年生の4月に思い描いた北陽台生には近づけていますか？残りの高校生活は長いようで短いです。定期試験や行事、部活動など目の前のことに全力で取り組みながらも、自身の進路実現や将来のことなど少し先を考え行動することが大切です。学年のスローガン、「Bear your own fruit, and give it to others. ～結実せよ、貢献せよ～」にちなみ、1学期の終わりに自身の成長した姿を種まき後の様子で描きましたが、3年生になったとき皆さんはどんな花を咲かせ、どんな実をつけたいですか？花を咲かせ、実をつけるためには多く養分が必要であり、養分を集めるための葉っぱや茎の成長が欠かせません。この2学期で、「何を身に付けるのか」、「どこを成長させるのか」を具体的に考えて、自ら行動に移してみましょう。我々も引き続き、皆さんの成長をサポートしていきます。

保護者の皆さんにおかれましては、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。文化祭や健脚比べ、校外模試、探究活動の発表など生徒にとっては忙しい2学期になるかと思いますが、引き続き46回生の成長を温かく見守っていただけると幸いです。

質問する力は合格への架け橋！

2003年夏。長崎北陽台高校 3 年生の私は、地元長崎開催のインターハイ優勝を目指して何度も雲仙や大村の多良山系の山を登っていました。無事インターハイで優勝(写真は金メダル)した数日後には雲仙を再度訪れ、7 泊 8 日(?)の学習合宿に参加。当時は課題も山のよ



うにあり、課題消化に追われる日々だったと記憶しています。当時の私は国語が苦手でした(今も苦手ですが)。どうしても現代文が分からなかったのが、合宿のときに当時の学年主任の先生(国語)に質問に行きました。私の文の読み方は間違っていたようで、丁寧に教えていただくとともに、自己流がいかにもダメかを痛感しました。その後、徐々にコツをつかみ、人並みの点数まで上がったのを記憶しています。あの時、もし質問していなければ、私は違う大学や学部に行き、教員になっていなかったかもしれません。

あれから 22 年が経った今年。北陽台高校に教員として戻って 13 年目の夏は、相変わらずインターハイ優勝を目指して山を登っていました。選手の頑張りが実を結び、監督 4 回目の優勝となり、いい思い出ができました。さらに今年は中国・四国・九州地区理数科課題研究大会にも参加し、貴重な経験ができた夏となりました。そのため、ほとんど学校不在となり、45 回生のみなさんや先生方には大変ご迷惑をおかけしました。(写真は、インターハイに出場した登山部、中四国九州大会に参加した文理探究科)



さて、体育大会も終わり、共通テストまでのカウントダウンは刻々と進み、気づけば残り約 100 日に近づいています。受験モードに入っている 45 回生のみなさん、「今更聞いても。。。｣と思い、質問せずにそのままにしていますか？今はスタサプや you tube などのオンライン動画もあります。しかし、授業終了後や昼休みに先生たちや友達に、「生の声」で質問して答えてもらうのが、一番早い疑問解決です。これまで 35 回生、39 回生、42 回生の 3 年生の指導をしました。職員室に行列ができるくらい質問する先輩たち、毎時間必ず色々な教科の質問する先輩たちなど、多くの先輩が職員室に来ていました。今は Teams のチャットもありますが、職員室も近いので、是非足を運んで質問しましょう。私も微力ではありますが、45 回生の進路実現に向けて、一生懸命質問に答えたいと思います。質問することは恥ずかしいことではありません。質問する力を持つ人

は合格にも近づきます。そして、その力は社会に出ても役立つ大きな力です。

高校生活も、あと 5 か月!質問する力を身に付けて、合格しましょう!

23 回生の数学科教諭

10月の主な行事予定

- 1 日(水) 第 2 回北陽日
- 3 日(金) 第 2 回英語検定(1 次)
共通テスト出願締切
- 7 日(火) 地域清掃活動および秋のレクリエーション(3 年)
- 8 日(水) 大学入学共通テスト 100 日前集会(3 年)
- 10 日(金) 月曜日の時間割
- 11 日(土) 校外模試(～12 日 3 年)
- 18 日(土) 大学別模試(～19 日 3 年)
- 20 日(月) 総探中間発表(午前:2 年普通科)
大学出前講義(午後:1・2年)
- 23 日(木) 芸術鑑賞会(午後)
- 25 日(土) 土曜講座(3 年)
- 28 日(火) 県高総体駅伝競技
- 30 日(木) 人生の達人セミナー

